

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:6月28日(木)

会場:君田生涯学習センター

参加者数:45人

参加者の発言	市の発言	備考
平成26年の広島市の大規模土砂災害, 大阪の地震, 今週の口和町を震源とする地震など災害が多い。平成28年に地域防災会議を設立し, 平成28年、29年と総合防災訓練を実施した。7地区の内, 3地区にしか防災士がいない。全地区に最低1人は防災士が必要。防災士の養成に力を貸してほしい。	・自主防災の立ち上げ, 防災士の活動に感謝している。減災に対する活動が求められている。自主防災組織が全市で組織された。市内で60名程度養成してきたが万全ではない。費用はかかるが, 前向きに意欲的に進め, 防災・減災を一緒に進めていきたい。 ・70名近い防災士がおり, 19の自主防災組織が設立されている。活動補助金を活用して, 防災力の向上に努めていただきたい。	
庄原市が病後児保育施設を設立した。三次市には既にあるが, 月々, 年間でのどのくらいの利用者があるのか教えてほしい。	市立三次中央病院では年間240日開設。平成28年度は, 90数日利用で, 延べ120人が利用。秋から冬にかけて, インフルエンザが流行する時期に利用者が多い。	
男女の平均寿命がわかれば教えてほしい。	平成25年で, 平均寿命が, 男性79.34歳 女性87.57歳。健康寿命が, 男性77.91歳 女性84.17歳である。	
三次高校について, 以前に理数コースを作ったが, なぜ無くなったのか。原因は何か教えてほしい。	かつては理数コースがあった。理数コースが無くなったことの原因については, 県立高校のことであり, 詳細は把握していない。中高一貫校は県内では東広島市にあるが, 特色ある学校づくりを方針とする中で, 県北にも中高一貫校を作り, 生徒が流出するのを防ぐねらいがある。	
住宅団地の造成をめざしていたが, その土地は, ある企業に売却が決定した。土地の残りを定住対策で団地化してよとの覚書を交わした。	君田に団地が必要なことは理解しており, 協力していくことに変わりはない。	
放課後教室は老朽化のため, 網戸やクーラーがない。保健センターを利用させてほしい。平日に16~17人通っているが, 夏休みには22人~23人になり, 指導員が不足している。予算を増額していただき, 指導員のローテーションを組めるようにしてほしい。	放課後教室については, 後程詳しいことを聞かせていただきたい。	【回答】 詳しくお話しを伺い, 実施場所の変更, 予算についての確認をさせていただいた。 (子育て支援課)
君田には約70戸の空き家があるが, 空き家バンクに登録しているのは3戸のみ。帰省者に話を聞くと, 「家財や山林の処分ができない。たまには帰りたい。墓がある」などの理由が多かった。助成制度はあるが活用されていない。集落支援員をどのように生かしていただけるのか。もう少し現場に合った対策をとってほしい。	・現在11名の集落支援員が活動しており, 情報共有する中で色々な意見をいただいている。支援マニュアルの作成などに努めていく。空き家バンクについて固定資産税の納税通知書に制度を記載するなど周知を図っている。いただいた意見により, 上限20万円の家財の処分費の助成を始めたが, 少ないとのご意見をいただいた。見直しを含めて, 一緒に考えていきたい。 ・空き家バンクについては十分ではない。Iターンの要望は多く, 考える余地があると思っている。	
地籍調査の進捗状況と予定を聞きたい。	進捗率は68.4%。君田は49.6%で約半分。着手から5年かかる。茂田はあと2年くらいの期間を要する。その後が櫃田であるが, これまで北部を重点的に行ってきたので, 次は旧三次を行っていく。	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:6月28日(木)

会 場:君田生涯学習センター

参加者数:45人

参加者の発言	市の発言	備考
県道下門田泉吉田線の通行止めについて聞きたい。	通行止めがいつまでか確認して回答する。	【回答】 ・平成30年7月初旬に、県に確認したところ、現在測量設計中で、復旧時期については未定とのことであった。 ・平成30年10月初旬に、再度県に確認したところ、災害のため引き続き復旧時期は未定とのことであった。 (土木課)
林道沓ヶ原女節線の管理状況について、維持管理をお願いしたい。	林道の維持管理については、確認して回答する。	【回答】 市道認定されている。維持管理については土木課で対応していく。(君田支所, 土木課)
希少動植物の保護条例もでき、神之瀬自然公園の保護活動を期待している。神之瀬峡鳴ヶ滝 橋の復旧と幻の滝の遊歩道の整備をお願いしたい。	・希少動植物の保護については、インストラクター協会と協議し、前向きに保護活動を支援していきたい。 ・橋の修繕方法については検討中である。遊歩道については、県立自然公園を管理する県と現地確認する予定である。	
君田診療所は現在、週3日午前中のみ開設しているが、1日は市立三次中央病院からの派遣。町外の病院へ変わる人もいる。病院がないと定住にも影響がある。診療所を存続してほしい。	・荒瀬医師が回復されたが、今年で定年になる。県と協議しながら医師を確保したい。 ・作木診療所も市立三次中央病院から2年間医師を派遣したが、医師の確保ができた。医師の確保は厳しい状況であるが、努力していく。	
・君田町の住民の満足度が重要。 ・診療所の開設状況を危惧しており、3~5年先にならぬか心配。通院に関する町民アンケートでは、中病220人、君田診療所110人、口和診療所16人、中村医院35人となっている。君田診療所の医師確保をお願いする。		
現在社協の君田支所には常勤の職員が1名。事業実施が衰退しているように思う。活動を担う職員の人材育成が必要。地域社協を財政的にも組織的にも支えてほしい。	・社協の使命を発揮することが安心・安全につながる。役割は極めて大きい。社協の期待度が高いことは理解している。 ・社協としての事業の縮小はない。地域の思いは、社協に伝える。	